



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月9日

上場会社名 株式会社ヨコオ 上場取引所 東
 コード番号 6800 URL https://www.yokowo.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 徳間 孝之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員専務 (氏名) 深川 浩一 (TEL) 03-3916-3111
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	43,737	△3.2	3,771	△3.4	3,232	△13.6	2,373	△15.3
2020年3月期第3四半期	45,171	11.0	3,905	66.9	3,741	44.7	2,802	45.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,734百万円(5.5%) 2020年3月期第3四半期 2,591百万円(99.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	116.54	116.32
2020年3月期第3四半期	138.40	138.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	53,184	30,370	57.0
2020年3月期	48,134	26,532	55.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 30,318百万円 2020年3月期 26,503百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	14.00	—	16.00	30.00
2021年3月期	—	16.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,500	△1.8	5,000	1.7	4,400	△4.0	3,200	△7.0	152.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) YOKOWO MANUFACTURING OF THE PHILIPPINES, INC.、除外 1社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	21,519,878株	2020年3月期	20,849,878株
2021年3月期3Q	538,210株	2020年3月期	564,946株
2021年3月期3Q	20,369,326株	2020年3月期3Q	20,251,937株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の本資料に記載されている業績見通し等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における売上高は、回路検査用コネクタ及び無線通信機器の両セグメントが前年同期比で増収となった一方、車載通信機器セグメントが前年同期比で減収となった結果、43,737百万円（前年同期比△3.2%）となりました。営業損益につきましては、車載通信機器セグメントが利益率改善により黒字に転じ、無線通信機器セグメントが増加したものの、回路検査用コネクタセグメントが減少したことなどから、3,771百万円の利益（前年同期比△3.4%）となりました。経常損益につきましては、円高による為替差損502百万円を計上したことなどにより、3,232百万円の利益（前年同期比△13.6%）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、経常減益により、2,373百万円の利益（前年同期比△15.3%）と、前年同期比で減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 車載通信機器

当セグメントの主要市場である自動車市場は、新型コロナウイルス感染症の拡大により自動車メーカーが減産を余儀なくされ、下期以降は減少幅が縮小しているものの、生産・販売ともに前年同期を下回りました。地域別では、中国市場の新車販売台数が前年同期比で増加したものの、米国／アセアン／日本国内市場では、当上期における需要落ち込みと生産縮小・停止により、前年同期比で大幅な減少となりました。

このような状況の中、主力製品であるシャークフィンアンテナ／GPSアンテナをはじめとする自動車メーカー向けアンテナの国内・海外販売及びETCアンテナなど国内向けを主とする製品の販売は、第2四半期以降は自動車メーカーの挽回生産により前年同期を上回る水準となっておりますが、第1四半期の売上減をカバーするには至らず、前年同期を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は26,667百万円（前年同期比△8.7%）と、前年同期比で減収となりました。セグメント損益につきましては、第1四半期が942百万円の大幅な赤字となったものの、第2四半期以降は比較的利益率の高い製品の比率上昇に加え、前年同期の部材不具合解消とコストマネジメントの浸透による製造経費低減、生産性向上による労務費比率低下などにより損益を大幅に改善し、136百万円の利益（前年同期比+9.2%）となりました。

② 回路検査用コネクタ

当セグメントの主要市場である半導体検査市場は、新型コロナウイルス感染症や米中貿易摩擦の影響を背景に、テレワーク拡大に伴うパソコン需要増加や外出制限・自粛に伴うインターネット利用急増によるサーバー需要増加の一方で、スマートフォン向け需要が減少しました。5G関連需要については、投資停滞により一時的に減少しましたが、第3四半期以降は徐々に回復傾向にあります。

このような状況の中、当社グループの主力製品である半導体後工程検査用治具の販売は、第1四半期におけるロジック半導体検査用ソケット・高周波検査対応ソケットの受注増の一方で、第2四半期以降は新型コロナウイルス感染症拡大及び米中貿易摩擦の影響により主要顧客からの受注が軒並み減少し、前年同期水準となりました。半導体前工程検査用治具の販売は、周辺機器を含めてワンストップソリューションでサービスを提供するターンキービジネスが順調に推移したことなどにより、前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は9,883百万円（前年同期比+4.3%）と、前年同期比で増収となりましたが、その伸びは鈍化しました。セグメント損益につきましては、今後の受注回復・増加を見越した生産体制強化による固定費増加などにより、1,936百万円の利益（前年同期比△13.6%）となりました。

③ 無線通信機器

当セグメントの主要市場である携帯通信端末市場は、スマートフォンの販売が減少傾向にある一方、ウェアラブル端末は多様化・高機能化により今後の成長が見込まれております。POS端末市場は、物流／製造を始めとする幅広い業界において、情報管理による業務効率化実現の観点から着実な成長を続けているほか、産業機器などの他市場も成長が期待されております。

このような状況の中、微細スプリングコネクタを中核製品とするファインコネクタ事業におきましては、POS端末向け販売の堅調な推移に加え、学校教育現場用モバイル端末向けなどの受注が増加したことなどにより、売上高は前年同期を上回りました。

当セグメントに含めておりますメディカル・デバイス事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により部品の受注が弱含む中、ユニット品の新製品販売が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は7,186百万円（前年同期比+10.7%）と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、ファインコネクタ事業における増収に伴う増益に加え、メディカル・デバイス事業における歩留の向上などにより、1,699百万円の利益（前年同期比+10.5%）となりました。

(事業セグメント別連結売上高 前年同期比較)

(単位：百万円、%)

	前第3四半期 連結累計期間 自 2019年4月 至 2019年12月	当第3四半期 連結累計期間 自 2020年4月 至 2020年12月	前年同期比
	売上高	売上高	増減率
車載通信機器	29,207	26,667	△8.7
回路検査用コネクタ	9,474	9,883	+4.3
無線通信機器	6,489	7,186	+10.7
合計	45,171	43,737	△3.2

(事業セグメント別連結売上高 四半期別推移)

(単位：百万円)

	第1四半期 連結会計期間 自 2020年4月 至 2020年6月	第2四半期 連結会計期間 自 2020年7月 至 2020年9月	当第3四半期 連結会計期間 自 2020年10月 至 2020年12月
車載通信機器	5,367	10,107	11,192
回路検査用コネクタ	4,048	2,779	3,055
無線通信機器	2,153	2,655	2,377
合計	11,569	15,542	16,625

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、現金及び預金増加272百万円、売上債権増加687百万円、たな卸資産増加1,485百万円、有形固定資産増加1,848百万円などにより、53,184百万円（前連結会計年度末比5,050百万円の増加）となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、仕入債務増加1,287百万円により、22,814百万円（前連結会計年度末比1,212百万円の増加）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、第三者割当増資の払込に伴い資本金が861百万円、資本剰余金が861百万円増加したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益2,373百万円の計上、その他有価証券評価差額金増加353百万円、配当金の支払649百万円などにより、30,370百万円（前連結会計年度末比3,838百万円の増加）となりました。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は57.0%（前連結会計年度末比+1.9ポイント）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績及び直近の受注見通しを踏まえ、全社売上高及びセグメント別売上高を下表のとおり修正いたします。営業利益につきましては、車載通信機器セグメントにおいて増収に伴う増益の一方で、世界的な半導体不足による調達価格高騰及び海上運賃高騰等による物流費増加により、損益は横ばいを見込み、回路検査用コネクタセグメントにおいては、円高が収益の下押し要因となりますが、増収及び利益率改善により若干の増益を見込んでいることから、下表のとおり修正いたします。経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、想定為替レート1米ドル=103.5円（前回予想時は1米ドル=105円）のもと、為替差損等営業外費用600百万円を見込み、下表のとおり修正いたします。

なお、想定為替レートは、本年2月以降当期末まで1米ドル=103.5円としております。

通期（2020年4月1日～2021年3月31日）

（単位：百万円、％）

	前回予想 (2020年11月10日公表)	修正予想	増減	増減率
売上高	58,000	59,500	+1,500	+2.6
車載通信機器	35,700	37,000	+1,300	+3.6
回路検査用コネクタ	13,000	13,200	+200	+1.5
無線通信機器	9,300	9,300	—	—
営業利益	4,800	5,000	+200	+4.2
経常利益	4,400	4,400	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,150	3,200	+50	+1.6

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,352	12,624
受取手形及び売掛金	10,774	11,462
商品及び製品	4,662	6,188
仕掛品	402	363
原材料及び貯蔵品	3,616	3,614
その他	1,456	1,803
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	33,262	36,054
固定資産		
有形固定資産	11,296	13,145
無形固定資産	900	985
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	81	132
その他	2,593	2,867
投資その他の資産合計	2,675	3,000
固定資産合計	14,872	17,130
資産合計	48,134	53,184
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,428	7,715
短期借入金	6,489	6,373
1年内返済予定の長期借入金	—	1,800
未払法人税等	770	230
賞与引当金	600	599
その他	3,291	3,657
流動負債合計	17,580	20,376
固定負債		
長期借入金	3,400	1,600
退職給付に係る負債	183	197
その他	438	640
固定負債合計	4,021	2,438
負債合計	21,602	22,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,996	4,857
資本剰余金	3,981	4,843
利益剰余金	19,045	20,756
自己株式	△664	△632
株主資本合計	26,359	29,824
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84	437
為替換算調整勘定	△64	△33
退職給付に係る調整累計額	124	89
その他の包括利益累計額合計	144	493
新株予約権	3	16
非支配株主持分	24	36
純資産合計	26,532	30,370
負債純資産合計	48,134	53,184

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	45,171	43,737
売上原価	35,181	34,370
売上総利益	9,990	9,366
販売費及び一般管理費	6,085	5,594
営業利益	3,905	3,771
営業外収益		
受取利息	20	12
受取配当金	34	35
その他	47	51
営業外収益合計	101	99
営業外費用		
支払利息	80	56
持分法による投資損失	15	31
為替差損	97	502
その他	72	47
営業外費用合計	265	638
経常利益	3,741	3,232
特別利益		
固定資産売却益	1	4
投資有価証券売却益	93	19
特別利益合計	94	23
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	24	63
製品保証費用	14	—
特別損失合計	39	64
税金等調整前四半期純利益	3,796	3,192
法人税、住民税及び事業税	762	624
法人税等調整額	216	180
法人税等合計	978	805
四半期純利益	2,817	2,387
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,802	2,373

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,817	2,387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	99	353
為替換算調整勘定	△297	29
退職給付に係る調整額	△28	△35
その他の包括利益合計	△226	347
四半期包括利益	2,591	2,734
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,576	2,722
非支配株主に係る四半期包括利益	14	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2020年11月10日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において第三者割当による新株式発行を行いました。この結果、資本金が861百万円、資本剰余金が861百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が4,857百万円、資本剰余金が4,843百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	29,207	9,474	6,489	45,171	—	45,171
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	70	—	70	△70	—
計	29,207	9,544	6,489	45,242	△70	45,171
セグメント利益	124	2,241	1,537	3,904	1	3,905

(注) 1 セグメント利益のその他1百万円は、主に親子会社間の内部取引の相殺であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,667	9,883	7,186	43,737	—	43,737
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	26,667	9,883	7,186	43,737	—	43,737
セグメント利益	136	1,936	1,699	3,772	△0	3,771

(注) 1 セグメント利益のその他△0百万円は、主に親子会社間の内部取引の相殺であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。